



あじさい通信

11月号

可能性は∞無限大

11月3日は学校公開日で1・2年生の進学対象者と保護者に向けて、奨学金セミナーを開きたくさんの生徒と保護者が参加しました。3年生の5月には奨学金を受けるための準備が必要ということや第1種奨学金と第2種奨学金の違い、保護者と生徒の進路に関わる話し合いが大切などわかりやすい講演会でした。



参加した生徒と保護者の感想



*奨学金のことがよくわかった。とてもお金がかかるので親に言っておきたい。

*奨学金と教育ローンのちがいがわかりやすかったです。奨学金には3種類の方法があると初めて知りました。選択肢によってお金の金額が変わってくるのでよく話し合おうと思いました。

*奨学金については身内で経験者が居るのでシステム知っていました。教育ローンに関しては名前を聞いたことがあるくらいで奨学金との違いが分かりやすい説明だったので良かったです。(保護者)

10月20日(火)～10月22日(木)1年生は就業体験に行きました。緊張や不安の連続の3日間だったと思いますが、全員それぞれの事業所で一生懸命取り組む姿が見られました。実習ノートの記録からも、実習を通して働くことの意義や厳しさを知り、社会における挨拶マナーの大切さを実感できたことが伝わってきます。この経験を今後の学校生活に生かし、進路実現に向かって前進して行きましょう。



生徒の感想より

*社会ではあいさつがすごく大切だと言うことが就業体験でわかったので、高校生活では先生や先生や先輩などにしっかり挨拶しようと思った。何かを言われたらちゃんと返事をする。わからなかったらわからないという。いつも笑顔で過ごすことが大切だと思った。

*3日間の就業体験を通して学んだ社会で働くために大切な心構えは、自分に与えられた仕事は精一杯やりきることです。自分にはできないなどと放り出すのではなく、与えられた仕事は責任をもってするのが大切な心構えだと学びました。この3日間は自分にとってためになったと思います。



*何事に対しても我慢が必要だなと思った。何か言いたくても、優しく声をかけたりすることも必要であると思いました。これから頑張っていきたいと思います。

*どこで会ってもあいさつは大切とわかりました。しゃべりかけられても、適当に返さず合った返事を返さないと相手もちゃんとわかっていると教えられました。介護士さんたちはちゃんと一人ひとりを見ていて会話をしたりしていたのですごくいいと思いました。



*ためになったことは、学校ではあたりまえのことが仕事だとあたりまえじゃないことです。学校だと合間に休みが入るけど、仕事は9時～12時までずっと立ちっぱなしで作業をするので大変だったけど大人になったらこれが普通なのかなと思いました。役に立ちそうなことは礼儀のことです。人に会ったらみんな絶対にこんにちなどは、あいさつをしていたのであいさつは大切なことだと思いました。なので学校でもあいさつを頑張りたいです。

*社会で働くために大切なことは”ワークシェアリング”だと思います。実際に働いている人に教えてもその通りだなと思いました。仕事を共有し合い、効率よく働くということです。これはこれからの学校生活や社会に出てからも必ず役に立つと思いました。また基本的なあいさつや身だしなみ、言葉遣いも大切だと実感しました。



高校生活では提出物の期限を守ったりして練習しているんだと思い、これからの高校生活でしっかりしていきたいです。

*就業体験を終えて、働いている人は毎日大変だと思いました。三日間という短い期間だったけれど忙しい中職場の方々はとても温かく私たちを迎えてくださりうれしかったです。とても繊細に効率よく安全に働けていて凄いなと思いました。

*社会で働くためには、どんな仕事でも自分中心にしないことだと思った。そこで



*高校生活で身につけたいことは、先を読む力をつけたいです。つぎにする仕事を読めると仕事を効率があるからです。そして社会で働くために大切な心構えはあいさつです。どの仕事にしても、お客様には大きな声ではきはきとあいさつすることが大切だと思う。

★第2回家庭学習状況調査の結果★

10月24日～30日まで1・2年生は校外模試もあることから家庭学習状況調査を行いました。平均学習時間は1年生・・・29分、2年生・・・39分、3年生・・・41分でした。3年生の受験が近い生徒は**300分**も学習していました。今月も期末考査前の調査があります。10月の記録以上にしていきたいと思います。